

ひろば

福岡教育大学学術情報センター図書館報 第154号

Side A : 後援会寄贈図書を紹介
学内事業で設置したコーナーを紹介
Side B : 教職員寄贈図書等の紹介

後援会寄贈図書の紹介

後援会からのご寄贈により、図書(495冊)とDVD(18本)が後援会コーナー(図書館2階)やAVルーム(図書館1階)などに新たにわかりました。図書館HPにリストを掲載していますので、どうぞご覧ください。

☆

新刊図書は、カウンター前の新着本コーナーにあります。



学生の皆さんからのリクエスト本、ベストセラー、文学賞受賞本、学生用図書などをポップ付きで展示しています。随時更新していますので、来館時には要チェックです!

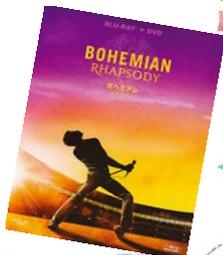
文学賞など受賞図書

- | | | | |
|------|----|-------|----------------|
| 芥川賞 | 上期 | 今村夏子 | 「むらさきのスカートの女」 |
| | 下期 | 古川真人 | 「背高泡立草」 |
| 直木賞 | 上期 | 大島真寿美 | 「渦 妹背山婦女庭訓魂結び」 |
| | 下期 | 川越宗一 | 「熱源」 |
| 本屋大賞 | | 皿良ゆう | 「流浪の月」 |



視聴覚資料 (DVD)

- ボヘミアン・ラプソディ
万引き家族
スマホを落としただけなのに
翔んで埼玉
アルキメデスの大戦 など



令和元年度 後援会図書 貸出ランキング!

- 1位 ヨシタケシンスケ 「思わず考えちゃう」
- 2位 住野よる 「麦本三步の好きなもの」
- 3位 東野圭吾 「希望の糸」
- 4位 ヒノ・ツリガ 他 「Factfulness: 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣」
- 5位 キムスヒョン 「私は私のままで生きることにした」



1位のヨシタケシンスケさんの本は、後援会コーナーやこども図書室に22冊あります。クスッと笑え、ほっこりできる本が多いので、是非手にとってみてください。お薦めは「あるかしら書店」



図書のリクエストは、図書館HPやOPACからweb申込、あるいはカウンターにある購入リクエスト票どうぞ!



福岡教育大学後援会からのご寄附に、心より感謝いたします。

学内事業で設置したコーナーの紹介

2階ホールには、教育総合研究所の研究プロジェクトのひとつである「小学校、中学校におけるアクティブ・ラーニングの教員研修の改善に向けた調査研究」の一環として収集した図書コーナーもあります。どうぞご利用ください♪

教職員寄贈図書を紹介

昨年4月から今年6月までの間に本学の先生方から図書館にご寄贈いただいた図書をご紹介します。

図書館開架室に配架していますので、どうぞご利用ください！！

①見上昌睦, 猪狩恵美子編著 『特別支援教育と介護入門：特別な教育的支援を必要とする子どもたちの理解と支援のために』



あいり出版
2019年7月発行

特別支援教育に関する専門性は、特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室といった教育現場だけでなく、発達障害等のある子どもの支援、交流及び共同学習やインクルーシブ教育の一層の推進のために、通常の学級担任教師にも求められています。本書は、本学初年次「特別支援教育と介護入門」（1999年度に開設）の授業テキストとしての使用を目的に、特別支援教育に関する最新の動向や情報等も踏まえて作成しています。特別支援教育と2年次介護等体験に向けた入門書として、教員養成課程低年次生の方々をはじめ、多くの皆様にご使用いただけましたら幸いです。

学生の皆様には、本書を通して特別支援教育と各障害の理解、指導・支援に関する基礎知識を身に付け、表紙のような親子に寄り添い、支えていくというイメージをもちながら学習を継続し、将来教師として特別支援教育を創っていただけることを執筆者一同願っております。

(文：特別支援教育ユニット 見上昌睦先生)

< 開架室 福教大コーナー 378||KE44||福教大 >

②松尾正幸著；向井常博医学監修 『禁煙・受動喫煙教育新論：21世紀家庭・学校・地域社会からのアプローチ』



世論時報社
2019年1月発行

「タバコは健康に悪い」ということは、タバコの箱に書いてあります。吸う人も知っているはずですが、でもタバコを吸う人の健康状態は人それぞれなので自覚できない場合がほとんどです。さらに、タバコには依存性があるため、吸い始めると止められません。

近年、大人の喫煙率は減少していますが、厚生労働省の調査によると中学生や高校生の喫煙経験率は10%程度あり、0ではありません。加熱式タバコや電子タバコも出回り、ファッション性があがっています。教師として喫煙に興味がある子どもたちに、あなたならどのような言葉をかけますか。

著者の松尾正幸氏は、ヨーロッパ各国の喫煙状況を研究・視察した成果を基に、家庭・学校・地域社会でどう対処していけばよいのかを本書で書かれています。吸う人はタバコのデメリットをわかった上に、依存しているのですから、喫煙を止めさせたいのなら、一読して説得力のある「考え」と「言葉」で理論武装しておきましょう。(文：社会科教育ユニット 小田泰司先生)

< 開架室 369.81||MA85 >

③チョン・ヨンジュン著；藤田麗子訳『宣陵散策』



クオン
2019年10月発行

アルバイトで同世代の自閉症の青年ドゥウンを世話をするようになった、主人公「僕」の1日、とくにソウル江南区の王墓、「宣陵」公園での出来事が描かれている。

初めて自閉症青年とともに過ごすことになった「僕」。街行く人達とドゥウンとのトラブル、植物の名称の超人的な記憶力とボクシングに長けているというドゥウンのサヴァン能力への驚き。ドゥウン自身に対する、また街の人達からの差別に対する「僕」の困惑・怒り。街の少年たちからの差別にいたたまれなくなり、自分の頭を殴って血を流すドゥウンのその自傷行動を防げなかったことへの「僕」の自責の念。この小説は、障害者を理解することの本質が、「きれいごと」を抜きにして、淡々と非常にリアルに描かれていく。いやいや「障害者理解」ということば自体が、この小説には浅薄な単語かもしれない。最後、叔母に連れられて帰宅するドゥウンと別れたあとの「僕」の独言を、みなさんはどのように捉えるか？

「多文化相互交流論」授業担当教員として、またひとりの知的障害青年の父親として、飯田から学生の皆さんにお勧めしたい本である。

韓国語オリジナルも後半にハングルで掲載されている。ハングルを学習している人は、読解に挑戦してみよう。(文：学校教育ユニット 飯田史也先生)

< 開架室 929.13||C53 >